

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラブ晃望台校		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 28日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・相談しやすい環境、雰囲気	・家族と日常的にコミュニケーションを行い、利用時の子どもの様子や状態の共有や相談しやすい関係性の構築を図っている。また、会話の様子から困っていることを話しやすいように、最近の様子を確認を行っている。	・今後も継続して強みを活かしつつ、家族同士の意見交換ができる場を提供できるようにしていく。
2	・社会性の獲得、興味の拡大	・多様なイベントを通じて、社会性の向上を図っています。また色々なものに興味を持てるように工夫しながら豊かな感性を身につけるようにしています。	・今後も多様なイベントなどを通してお子様の可能性を広げていけるような支援を行ってまいります。
3	・支援の専門性	・社内、社外問わず各種の研修に参加をできる体制を整え、専門性の強化に努めています。また個別対応も迅速に行い、子どもに寄り添った対応をしています。	・今後も事業所として各種研修会に参加をしていきます。また参加した職員による事業所内研修や情報共有を通じて、支援の向上に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報の周知について	・イベント活動の様子や非常時の体制、対応について情報の周知が足りない。	・今年度ホームページの変更を行ったため、QRコードを使ったホームページの案内やブログ公開で情報の周知を図っていく。
2	・地域との関り、連携	・イベント等で社会資源を活用しているが、それ以外の関わりが少なく、地域での認知も不足している。	・地域イベントへの参加・参画し、地域に開けた事業所に向けて協議をしていきます。
3	・職員間の情報共有	・非常勤の方々と定期的な打ち合わせなどで子どもの様子や今後の方針は共有をできているが、日々の様子や気になることは限られた時間の中で共有を行えないことが多い。	・日報を確認する時間の確保、メモ等で情報共有をしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	クラブ児童台校
------	---------

公表日 令和8年 3月 27日

利用児童数 32名

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2		2		・今後も活動に合わせたスペースの確保を図っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1				・今後も利用者に向けた十分な支援が提供できる職員配置に励みます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	4		3		・今後も事業所の環境を整え、安全に利用していただければと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	2				・今後も気持ちよく過ごせる環境を維持していきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23					・今後も専門性の向上を図っていき、利用者に向けた支援を行えるようにします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		・今後も公表プログラムに則した支援を行っていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				1	・今後も継続して計画を作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		2		・今後も継続して支援内容を設定していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					・今後も計画に沿った支援を行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		2		・今後も固定化されないように、様々な活動プログラムを行っていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	1	12		・現在、他の機関との交流機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					・今後も丁寧な説明を心がけていきたいと思います。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					・今後も丁寧な説明を心がけていきたいと思います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	1	5		・保護者参加型のイベントを行いを情報交換の場としました。また研修会の周知をしました。今後も継続していきたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1				・今後も家族との情報共有を図ってきたいと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2				・定期的な面談の他に相談体制を整えています。今後も体制を整えていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					・今後も継続していきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	1	7		・保護者会の設置はありません。イベントの際に家族同士の交流の機会を作りました。今後、回数を増やしていければと考えています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1		2	・相談事に対し、いつも迅速に対応してくれるので非常に助かっている。 ・子どもの些細な変化に気づき、話を聞く等の対応をしてくれるので安心して任せられる。 ・普段とは違う様子の際には連絡してくれるので安心できる。	・今後も継続していきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23					・今後も情報共有を図っていきます。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	4		4		・案内の手紙を配布、SNS等で情報の発信、周知を図っていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		1		・今後も情報の取扱いに留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		8		・今まで以上に情報の発信、周知を図っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	3		9		・今まで以上に情報の発信、周知を図っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2		3		・今まで以上に情報の発信、周知を図っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3		2		・今まで以上に情報の発信、周知を図っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1				・今後も安心して通所していただけるよう支援を行っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	5			・BBQやバスでの遠足などイベントがたくさんあり楽しんでいる。 ・ボードゲームやカードゲーム、職員との談笑など事業所での様子を楽しそうに話してくれる。	・通所を楽しみにさせていただけるよう、今まで以上に通常カリキュラムやイベントを企画していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23					・今後も支援に満足して利用していただけるよう精進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クラブ児童台校				公表日	令和8年 3月 27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・机の配置など人数に応じて変えるなど配置をしている。	・今後も継続していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・子どもの状態や年齢などに配慮して職員を配置できるようにしている。	・今後も継続していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・子ども達が場所によって何をする所など配置によってわかるようにしている。	・説明よりも視覚的にわかりやすい子もいるので掲示物など用意する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・学習と活動のスペースを分け、お互いが集中できる空間にしている。	・全職員が意識して清掃など環境の整備をしていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・子どもの状態などよく観察をして、必要に応じて個別対応できるなど説明をしている。	・個室が少ないので必要に応じてパーティションなど使い、素早く対応できるようにしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・常勤、非常勤関係なく情報を共有して、支援の方の確認をしている。	・今後も継続していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・年2回以上のモニタリングに加え、常に要望を聞く体制を整えている。また職員にも共有して改善につなげている。	・今後も継続していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・全職員が参加できる会議だけでなく話す機会を設けている。	・今後も継続していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		・第三者評価委員などの外部組織の利用について検討をしていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・社内研修の充実や社会福祉協議会など市主催の研修に参加している。それ以外の研修等も随時案内をして自己研鑽に努めている。	・今後も継続していく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・HPに公表している。	・随時見直しをしていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・利用児や保護者と課題等を確認して、要望に沿う形で計画を作成している。	・今後も継続していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・常に職員間で情報を共有し、共通理解をして支援にあっている。	・今後も継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	・計画に基づいて行われるように情報共有を行い、支援をしている。	・一貫した支援体制のために非常勤の職員にも共有をし、より良い支援の提供に努めます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・WISC検査など用い、子どもに必要な支援や配慮について確認している。	・非常勤の職員にも周知をする。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・5領域の範囲を入れながら支援内容などを決め、具体的な内容にしている。また家族支援や移行支援なども家族と話し合いをしてその意向に沿った形で設定している。	・今後も継続していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・管理者、児発管、職員など各々の立場の意見を取り入れている。	・今後も継続していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・固定化しないようにその子の状況や周りの状況も鑑みて組み換えをしている。	・今後も継続していく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・学習支援やSST(ソーシャルスキルトレーニング)など状況に応じて組み合わせ支援をしている。	・今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・支援前にはその日の支援内容などの確認をして職員間で意見を出しながらその日の支援について決定をしている。	・非常勤の方には支援前に伝えるように配慮をしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・支援終了後には気づいた点や気になる点は共有をし、すぐに振り返りを行っている。	・業務時間内での振り返りが難しい場合、翌営業日に振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・個別記録を作成し、気になることなどは確認をし、検証、改善につなげている。	・今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・年2回以上のモニタリングを行い、その都度見直しや話し合いを職員間でしている。	・今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	・通常の支援に加え、イベントを行うことでより多くの活動を提供している。	・今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・自己決定をできるような配慮や声掛けをしています。	・今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・普段から子どもと関わる職員が事前にほかの職員と共有してから参加をしています。	・今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・連携しやすいように普段から研修などに参加をして関係性を作り、連携が取っている。	・今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・メールの登録や些細なことでも連絡を日頃から取っている。予定などで気になるときは随時連絡をして確認している。	・今後も継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	・児童発達支援事業所等との連携をして情報共有などして支援に活かしている。	・必要に応じて保育所や幼稚園、認定こども園など連携を取れるような体制作りをしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・他事業所に必要な情報を伝えることを承諾書をいただき、スムーズに移行支援できるようにしている。	・今後も継続していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	・地域の児童発達支援センターとの連携を図るために研修会などに参加をしている。	・非常勤の方々にも研修会など参加できるように声掛けをして機会を提供していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・理解をしていただけるように地域のイベントなどに参加をしている。	・どのように交流を持てるか検討をし、必要に応じて機会を作っていく。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		・今後参加も含めて検討をして参加をできる体制作りをする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎の際、保護者との情報共有に努めている。また気になることがあるときは電話などで共有をしている。	・今後も継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・子どもの状況などに応じて参加できる見学会や研修の案内をしている。	・家族支援プログラムなどの職員の理解の深める機会を設ける。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に丁寧に説明するとともに、書面でも確認をしていただき承を得ている。	・今後も継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・契約時やモニタリング時などに保護者の意思確認や子どもの意思の確認などを行っている。	・今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・見学や契約時に丁寧にわかりやすく説明するとともに書面にて同意を得ている。	・今後も継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・訪問や電話、SNSなどで迅速に対応できるようにしている。また面談が必要な場合はすぐに行っている。	・今後も継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・イベントなどで保護者参加のものを企画し、保護者やきょうだいが参加をして交流の機会を設けている。	・会としてはないことや定期的に行っていない状況なので、会の発足について慎重に検討をする。イベントも定期的に参加のものを企画するようにする。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情があった時などすぐに対応できる体制を整えている。また子どもへの適切な対応なども職員間で話をして共有している。	・苦情をいただかないように常に対処など適切だったなど話し合いをしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・ブログにて定期的にイベントの案内やイベントの状況など発信している。	・ブログを周知をして興味を持っていただき閲覧や参加をしていただけるようにしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・鍵付きキャビネットで保管をし、鍵の管理を徹底している。	・今後も継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・子どもに応じて方法など模索し、提案をして実践をしている。また振り返りをしてよりよい支援ができるようにしている。	・今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	・地域のイベントに参加するだけでなく共同で開催をして開かれた運営をしている。	・招待まではできていなく、認知をしていたくことから始めていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・HP上に公開をして周知をしている。また研修等を行い、対策をしている。	・訓練や想定など子どもに関わる職員で訓練をし、発生時に冷静に対応できるようにしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	・年2回以上の避難訓練や防災イベントにて意識付けをして緊急時には冷静に対応できるようにしている。	・非常勤の方々にも周知、参加をしていただく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・見学時、契約時に保護者に確認をして共有に努めている。	・今後も継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・アレルギーについて共有をし、常に危機感を持って対応している。	・指示書など確認できるものは保護者の了承を得て確認をして対応していくようにする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画を作り、それに沿って安全に支援できるようにしている。	・今後も継続していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・契約時に説明をして書面を通して確認をしていただいている。	・今後も継続していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	・事例集など作り、職員間で話し合いをして再発防止に努めている。また他事業所の事案なども収集して検討をしている。	・周知を徹底して事案等確認をして再発防止に向けて意見交換をしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・社内研修や社外研修に参加し、適切な対応をできるようにしている。またカメラを設置して対応の強化をしている。	・常に虐待のリスクや発生の恐れに細心の注意をしていくように職員間で声掛け等していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	・規則を作り、必要に応じて行う場合など説明をして了承を得るように整備をしている。	・今は必要な子どもはいないが、今後は必要のある児童が入ることを視野に入れ対策など検討していく。	